



令和7年11月7日
加茂市立須田中学校 学校だより 第8号

アカシアの花

～ 夢・希望・志のある学校 ～



生徒会スローガン

すばらしい学習発表会でした！！

10月25日（土）須田中学校では学習発表会を開催いたしました。午前中は総合学習発表会と音楽発表会を行い、生徒一人ひとりが今年度の学びの成果を堂々と発表しました。

総合的な学習の時間の発表会では、各自が取り組んできた調査や実践の内容を発表した後、保護者や地域の皆様と意見交換を行いました。子どもたちが考える須田地区の未来について、大人の皆様とともに語り合う貴重な時間となりました。地域の方々からは、「須田地区の未来を見据えた発表で、とても勉強になった」「生徒の皆さんの発表がすばらしかった」といった感想を頂戴し、生徒たちにとって大きな励みとなりました。

また、大人の方からのお話を通して、生徒の考えがより具体的に、実践へとつながる方向に深まったと感じております。ご参加くださった皆様に心より感謝申し上げます。

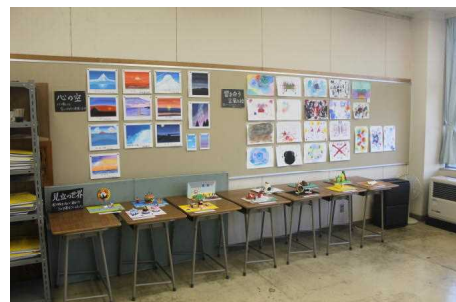
音楽発表会では、吹奏楽部による合奏と、全校合唱の二つのプログラムを披露しました。吹奏楽部は少人数ながら、まとまりのある演奏で会場を魅了し、親しみのある曲を心地よく聴かせてくれました。全校合唱では、コブクロの「今、咲き誇る花たちよ」を歌い上げ、練習の成果を存分に発揮した美しいハーモニーが会場いっぱいに響き渡りました。生徒一人ひとりの真剣な姿勢に、大きな成長を感じました。

昼食時には、育友会役員の皆様のご協力によりバザーが開催されました。生徒たちは思い思いに食事や飲み物を楽しみながら、和やかなひとときを過ごしました。ご準備・ご支援いただいた役員の皆様に深く感謝いたします。

午後は、生徒会が企画した「季節の館」を実施しました。1年間を通して行ってきたシーズンフェスのまとめとして、校舎全体が四季をテーマに彩られ、スタンプラリーや動画など、随所に工夫の光る内容でした。3年生を中心とした生徒会役員の皆さんの努力とチームワークに、心から拍手を送りたいと思います。

このように、多くの方々の温かな支えのもとで実現した学習発表会は、大変充実した、そして意義深い一日となりました。発表に向けて一生懸命に準備し、仲間と協力して臨んだ生徒の皆さんに大きな拍手を送りたいと思います。そして、ご来校くださった保護者・地域の皆様、須田中学校の教育活動をいつも温かく見守り、ご支援いただきありがとうございます。

これからも、生徒たちが地域とともに学び、成長していける学校づくりを進めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。





社会を生き抜く力を育てるために大切な5つの力 パートⅡ

先月の学校だよりに社会を生き抜く力を育てるために大切な5つの力を掲載させていただきました。バリエーションを加えて、さらに下記に具体例を載せてみました。ご家庭で話題にして、お子さんと一緒に考えていただけると幸いです。

1. 自分をよく知る力

- ① テストの点が悪かった教科について、「なぜ苦手なのか」「どこでつまづいたか」を振り返り、次回の勉強方法を変えてみる。
- ② 部活動の練習で、得意なプレーは自信を持ち、苦手な動きは先輩や先生にアドバイスを求めて克服しようとしている。
- ③ 友だちと話していて、自分が人前で話すのが苦手だと気づき、生徒会の司会に挑戦してみることを決意。
- ④ 休日に自分の好きなこと（絵を描く・D I Y・読書など）に没頭し、「これが自分の得意かも」と感じ始める。

2. 自分をうまくコントロールする力

- ① 友だちとのL I N Eのやり取りでカチンときたけれど、すぐに返信せず、一度深呼吸してから冷静に対応した。
- ② ゲームやS N Sをやりすぎそうなとき、自分で時間を決めてストップするルールを作っている。
- ③ 家族とのけんかで怒りがこみ上げたが、一度自分の部屋で落ち着いてから話し合いをしようとした。
- ④ 勉強に集中できないとき、短時間だけ運動したり音楽を聴いて気持ちを切り替えるようにしている。

3. 他の人を理解する力

- ① 学級委員などの立場で、クラスの意見が分かれたときに、少数派の意見もちゃんと聞こうと心がけている。
- ② 外国から来た転校生に対して、言葉が通じにくくても、絵やジェスチャーを使って一緒に行動しようとしている。
- ③ 友だちが落ち込んでいるとき、「なんで落ち込んでるの？」と聞くより、そっとそばにいてあげようと思った。
- ④ S N Sで意見が違う人を見ても、すぐに否定せず、「この人はこういう考え方なんだな」と思えるようになってきた。

4. 人と良い関係をつくる力

- ① 文化祭や体育祭の準備で、意見が合わない人ともお互いの意見を出し合い、うまく折り合いをつけて取り組んだ。
- ② 班活動でメンバーが話に入れない様子に気づき、「どう思う？」と声をかけて全員が参加できるようにした。
- ③ 友だちとケンカしたとき、自分から「ごめんね」と声をかけ、仲直りするきっかけを作った。
- ④ 部活動で後輩が失敗して落ち込んでいたとき、「大丈夫、次があるよ」と声をかけて支えた。

5. 責任ある行動や判断をする力

- ① 自分の提出物を忘れずに出すのはもちろん、友だちにも「明日締め切りだよ」と声をかけるようにしている。
- ② 落とし物を拾ったときに、友だちに渡すのではなく、正しく先生や職員室に届けている。
- ③ 小さい子が道路で遊んでいたのを見かけ、すぐに近くの大人に伝えて安全を守った。
- ④ SNSに写真を投稿する前に、「写ってる人の顔は大丈夫かな？」と確認してから載せるようにしている。

歴史上の有名な人物に学ぶ 旧1万円札で有名な福沢諭吉「自分を高める勉強法とは」

9月中旬ころ、NHKで100分de名著という番組がありました。福沢諭吉※について「自分を高める勉強法とは」ということで放送していました。気になったので、分かりやすくまとめてみました。須田中学校生徒の皆さんに、多く当てはまるなど感じ、紹介できればと思いました。

① どうして勉強しなくてはいけないのか？

福沢諭吉は、「勉強をすることは、自分の人生をよりよく生きるために必要なこと」だと考えていました。勉強をすると、いろいろなことを知ることができ、他の人にまかせずに**自分の頭で考えて行動する力**がつきます。つまり、勉強は「自分らしく、自由に生きるための力」になるのです。

② 勉強は毎日コツコツ続けることが大事

福沢諭吉は、「一気にがんばる」よりも、「毎日少しずつでも続けること」が大切だと考えていました。どんなに難しいことでも、**続けていれば少しずつできるようになる**からです。毎日の小さな努力が、やがて大きな力になります。

③ 外国語の勉強はどうしたの？

福沢諭吉は、最初に**オランダ語**を学び、そのあと**英語**も学びました。

どちらも、**辞書**を使って、**わからない言葉を一つずつ調べながら本を読んで覚えた**そうです。つまり、特別な方法ではなく、**地道でシンプルな方法をくり返すことが大事**だったのです。

④ 仲間と一緒に勉強することの大切さ

福沢諭吉は、**一人でがんばるだけではなく、仲間といっしょに学ぶことも大切**にしていました。友だちと教え合ったり、励まし合ったりしながら、**お互いに高め合っていく**。それが「切磋琢磨（せっさたくま）」という姿勢です。

⑤ 自分たちの勉強のやり方を信じる

福沢諭吉たちは、自分たちで考えて作った勉強法を、「これでいいんだ」と信じて一生懸命に続けました。他の人と違っていても、**自分のやり方を信じて、努力し続けることが大切**だとわかります。

⑥ 福沢諭吉が伝えたかったこと

福沢諭吉は、「勉強することが、未来を切りひらく力になる」と伝えたかったようです。毎日コツコツと学び、仲間と助け合いながら、**自分の力で考え行動できるようになる**。それが、**自分の人生を豊かにするカギ**だと教えてくれました。

※福沢諭吉について

- ・福沢諭吉（ふくざわ ゆきち）は、江戸時代の終わりと明治時代にかけて活躍した、日本の学者であり教育者です。
- ・福沢諭吉は、1860年から1867年にかけて、3回ヨーロッパやアメリカに行きました。そこで見た学んだりした欧米の文化や考え方を、日本人たちに本を通じて紹介しました。例えば「西洋事情」という本があります。
- ・1868年（慶応4年）には、現在の慶應義塾大学のもとになる学校「慶應義塾」を作り、教育に力を入れました。
- ・明治時代になっても、政府の役職にはつかず、勲章なども受け取らずに、自分の考えを本や教育を通して広めました。代表的な本には「学問のすすめ」や「文明論之概略」などがあります。また、福沢諭吉は1984年から約40年間、一万円札の顔として使われました。その理由は、品のある人物であり、日本でも世界でもよく知られている明治時代の文化人だったからです。
- ・福沢諭吉は、「勉強することの大切さ」や「自分の力で生きることの大事さ」を多くの人に伝え、日本の近代化に大きく貢献した人物です。

腸(ちょう)と心のつながり

お腹の中にある腸（ちょう）は、「第二の脳（のう）」とよばれることがあります。

腸の中が健康だと、気持ちも明るくなりやすく、反対に、腸の調子が悪いと気分が落ちこみやすくなるのがわかっています。

○腸の中には「腸内細菌（ちょうないさいきん）」という小さな生き物がたくさんいて、体にとってよい働きをする菌（きん）と、悪い働きをする菌がいます。

よい菌（善玉菌）が多いと、心を元気にしてくれる「セロトニン」という物質が作られやすくなります。

よい菌を増やすためには、次のような食物をとるとよいです。

- ・野菜や海そう（わかめ、ひじきなど）などの「食物繊維」
- ・納豆、ヨーグルト、味噌（みそ）、ぬかづけ、キムチなどの「発酵食品」

○運動と心のつながり

体を動かすことも、心の健康にとっても大事です。

軽い運動（ウォーキングやジョギングなど）をすると、気分がスッキリしたり、ストレスが和らいだりします。

運動をすると「BDNF（ビー・ディー・エヌ・エフ）」という物質が増えます。これは脳のはたらきを助けるもので、考える力や記憶力がよくなります。

運動は、さっきの腸内細菌にもよい影響を与えることが分かってきました。

○まとめ

お腹の中（腸）と脳は、実はつながっています。食物や運動は、どちらにもよい影響をあたえて、気持ちが明るくなったり、うつ病（ずっと気分が落ちこんでしまう病気）を防いだりします。

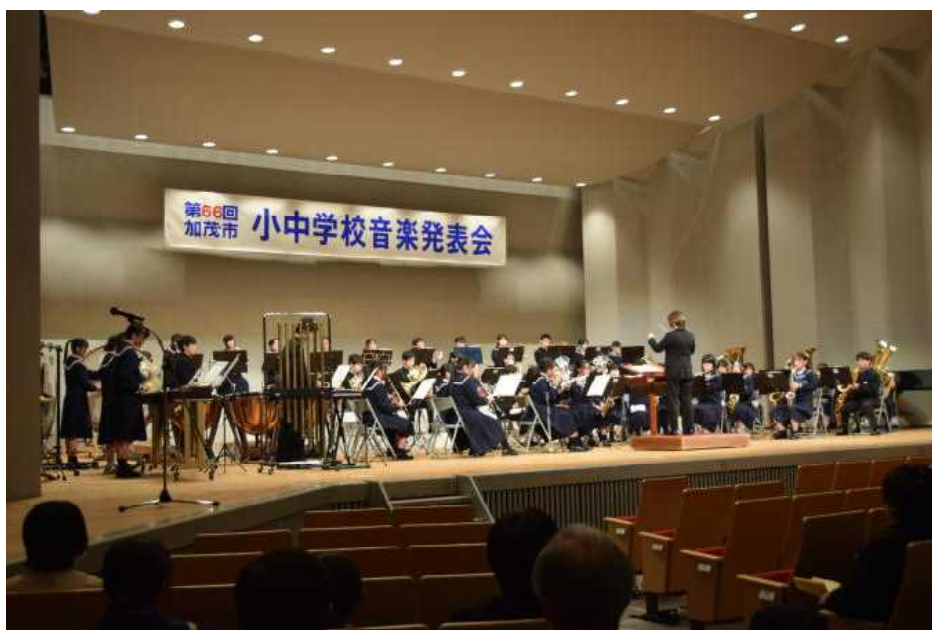
心と体を元気にするために、バランスのよい食事と、毎日のちょっとした運動を心がけることが大切ということでした。（9月末のNHK番組で放送していた内容です。）

令和7年度第66回 市内中学校音楽発表会

10月30日（木）、加茂文化会館にて市内中学校音楽発表会が開催され、本校も全校で参加しました。学習発表会でも、心をひとつにした素晴らしいハーモニーを聞かせてくれましたが、今回の音楽発表会でも、その歌声が会場いっぱいに響き渡りました。感動的な歌声を届けてくれた生徒の皆さんに、大きな拍手を送りたいと思います。

また、発表会のオープニングでは、市内中学校の吹奏楽部の皆さんによる演奏が披露されました。事前に何度も集まり、この日のために練習を重ねてくださったと聞いています。心のこもった素晴らしい演奏をありがとうございました。

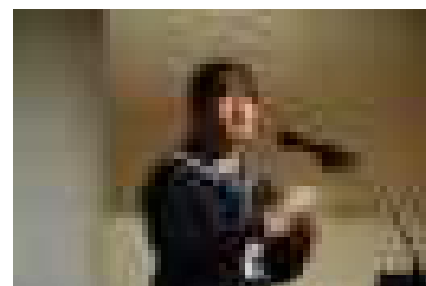
さらに、吹奏楽部の保護者の皆様にも、この発表会での演奏に際し、ご理解とご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。



オープニングで市内中学校吹奏楽部の皆さんが演奏している様子



「今、咲き誇る花たちよ」を合唱している様子



生徒会長の挨拶と学校紹介している様子